

シンボルロボ アイデアコンテスト

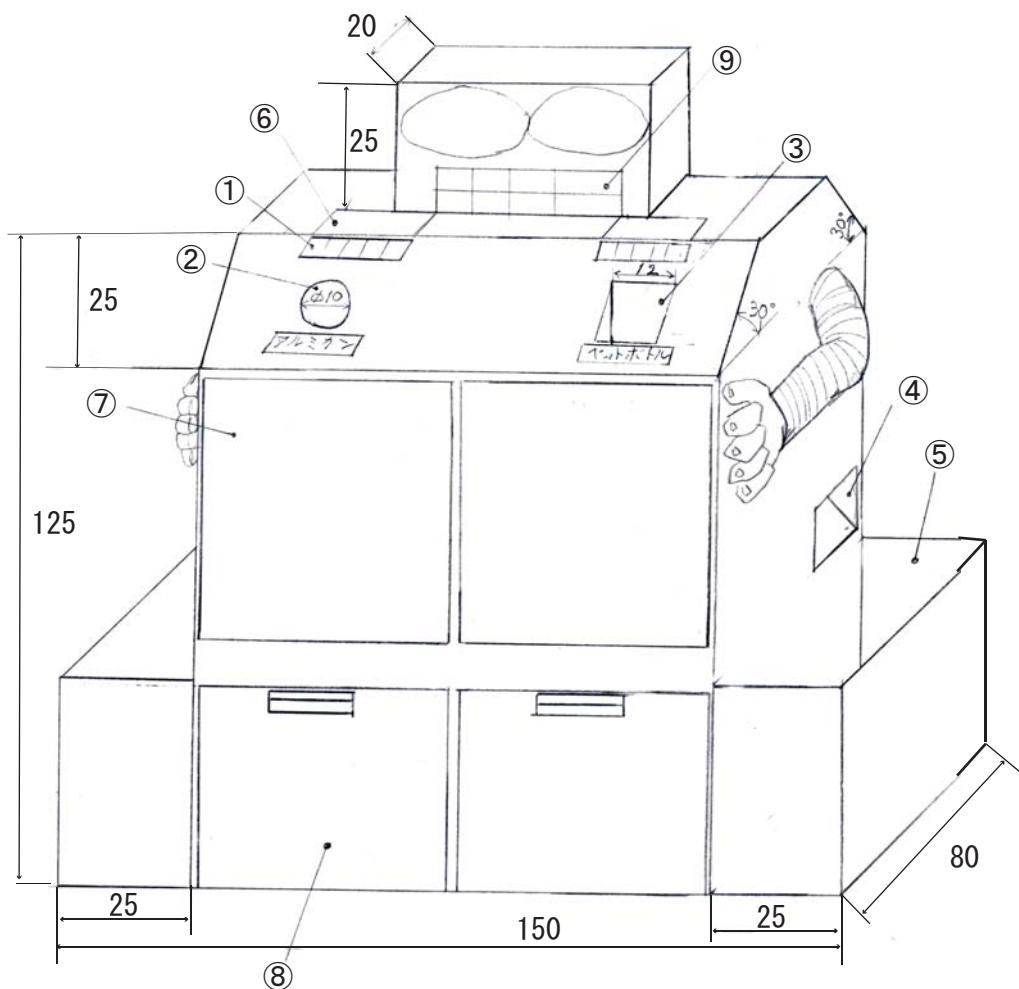
ものづくりのまち新居浜



一般の部

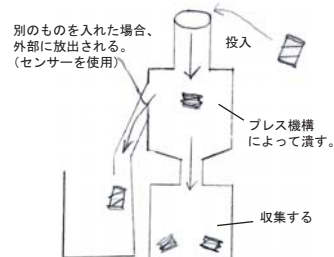
伊庭賞

まちの景観形成の面でアイデアが優れている作品



- ①投入数カウンター
- ②アルミ缶投入口
- ③ペットボトル投入口
- ④取扱不可払出口
- ⑤取扱不可格納庫
- ⑥カウンター基盤観覧部
- ⑦プレス機構観覧部
- ⑧回収物格納庫
- ⑨警告スピーカー
(取扱不可のものが入った場合、警告音声が流れる。)

＜一連の機能のイメージ図＞



『回収機 280』

新居浜工業高等専門学校 機械工学科 3年 黒河 英敏

- ・リサイクル等の環境問題が言われているので、その環境問題に役立ち、さらに新居浜の持つ技術力をアピールできるようなロボットを発想した。
- ・機構が外から見えるよう外観の所々を透明な材料で構成する。
→機構を実際に目にし、理解できることで新居浜の技術力を肌にかんじることができる。
- ・機能としては、アルミ缶やペットボトルを回収。それぞれの投入口を持ち、それらを投入すると、内部の機構によって潰され、収集される仕組み。
- ・なぜゴミ回収ロボットかという、公共の場所に置けば人の目に良につき、頻繁に利用してもらえ考えたからである。
- ・プレスの機構において、ペットボトルとアルミ缶の形状や材質の違いを考慮した場合、一元化は難しいものと考えられるので、アルミ缶用・ペットボトル用2つを並列させて、一つのロボットとして形作る。